

(3) 未来山梨創生委員会
(総括)

委員長 上原伊三男

未来山梨創生委員会は、山梨県の諸課題に取り組んでいくために、本年度より部会見直し・新編成され、「未来の山梨を考える部会」「つばさを広げる部会」「山梨ネットワーク部会」、「次世代育英部会」「運営部会」の5部会構成として事業運営を図りました。

山梨経済同友会はこれまで長年取り組んで来た「どうする！山梨」の主テーマ「人口減少で未来山梨はどうなる！？」＝「地域経済が弱体化している山梨の将来に対する危機感」に対して、地域総合力や民の知見、そのスピードが問われる中で、他団体との連携や成果の重要なことを痛感し、会員とともに、「目に見える形」での委員会活動を目指して、行政や組織を超えた各団体との連携を視野に入れた活動を行って来ました。

「未来の山梨を考える部会」では、期初において山梨県（部局長）との意見交換を通じて、山梨県とタイアップ（連携）しながら「将来の山梨のためになる事業をタイムリーに行っていく」という方向性を定めて活動を開始しました。新型コロナウイルスによる影響がありましたが、先ず「女性活躍パートナー会議」（11月開催目標）を創設しました。山梨県を女性が活躍できる地域・女性が推進する会議として注目・期待されるものと思う。

「つばさを広げる部会」では、昨年県内5大学と締結した『産学連携協定：つばさを広げる会～イノベーションを起こす若い力の創造～』をもとに、勉強会（11/7第1回、2/21第2回）を開催しました。最先端で活躍する一流の企業経営者やクリエイターより直接学生が学ぶ機会提供により、将来の地域人材の育成・産業振興に資する人材育成に期待しますが、「女性活躍パートナー会議」と同様、地域創生・山梨の魅力アップにも寄与していくと思う。

「山梨ネットワーク部会」では、ホームページの充実・進化により同友会全体の情報発信強化を目指した活動を行いました。さらには会員や県民に対する「山梨県の良さの発信」や「ご意見投稿による情報集約」など、山梨県における経済同友会ならではの存在価値の向上も図っていただきたい。また、5G、AI、IoTの研究を行い、生産性向上や働き方改革への活用検討を引き続きお願いしたい。皆様のご協力もお願いする。

「次世代育英部会」では、次代の山梨を担う若者〈中・高・大学生〉に出張授業を実施する。特に山梨県立大学とは連携協定のもと客員教授として各講座を担当するが、新型コロナウイルス感染症の拡大により予定の講義は中止となった。今後については、アフターコロナ、ウィズコロナの時代における社会の状況をよく認識する中で、活動を検討し進めていく。

「運営部会」は常設の部会である。主に各種の会議や連携事業・イベントなどの運営や会員交流事業の運営を担当するが、コロナ感染症のため、予定していたすべての会員交流事業が中止となった。自粛期間中、会員向けの2つの事業（飲食店等緊急応援プロジェクト、新聞広告事業）に関わったが、会員増強も含め来期以降の活性化に向けて積極的に運営をお願いしたい。

今後も山梨経済同友会の存在意義をアピールできるよう、引き続き汗をかいていきたいと思えます。

以下、各部会長による報告を致します。

以上

① 未来の山梨を考える部会活動報告

部会長 上原 伊三男
副部会長 清水栄一
副部会長 芝聡太郎

当部会は、「山梨県の課題に対して、県民と一緒に勉強し意見交換する場を設ける」ための部会として新設し、本年度より「未来山梨創生委員会」内に属して活動しております。

我々は以前から、「どうする！山梨」を掲げ、様々な活動（提言、広告、事業）を通じて、「県民のため」に、県民や県政に対してアピールしてきた実績があります。我々同友会に対して山梨県から色々と打診が来ていることから、今期は期初において山梨県と先ず率直な意見交換を行い、山梨県とタイアップ（連携）しながら「将来の山梨のためになる事業をタイムリーに行っていく」という方向性を定めて今期の活動を開始しました。

活動報告

■山梨県（部局長）との「意見交換会」開催

日時 令和元年11月18日（水） 11:30～13:00

会場 古名屋ホテル（甲府市中央1-7-15）

テーマ

- (1) 山梨県が抱えている課題など最近の話題
- (2) 経済界と連携して取り組むような課題
- (3) 民間および県相互のサポートを期待していること

出席者名（敬称略）

【山梨県】

渡邊和彦（総合政策部長）、弦間正仁（県民生活部長）、三井孝夫（リニア交通局長）、依田誠二（子育て支援局長）、中澤和樹（産業労働部長）、仲田道広（観光部長）、大儀健一（県土整備部理事）

【山梨経済同友会】

入倉要、三木徹、雨宮潔、上原伊三男、橘田和彦、望月英雄、安倍基記、加藤輝明、金澤悟、繁尾明彦、芝聡太郎、鈴木淳、中野武明、原田由起彦、伴野公亮、斉藤勇介、小澤健太郎、宮本秀憲、深沢文雄



■新型コロナウイルスに対し、県民へのメッセージの発信（同友会会員全員の名刺）

日時 令和2年5月12日（火）

新聞広告 「負けるな、山梨」大切な人を、大切な地域を守るために、乗り越えよう！

山梨日日新聞（朝刊裏面）に紙面広告を掲載

山梨経済同友会では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が延長されたタイミングで、山梨県民一丸となってこの難局を乗り越え、一日も早い終息につなげたいという思いから、山梨日日新聞に紙面広告を掲載させていただきました。

負けるな、山梨

大切な人を、大切な地域を守るために、乗り越えよう！

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が延長されました。家には数か月も学校に行けず、いかなる我慢を強いられている子どもたちもいます。仕事も思うように進まず（売り上げが激減し）、頭を抱える親がいます。感染してしまうのではないかとという恐怖や先が見通せない不安に心を痛めている多くの人がいます。

これまでに私たちが直視したことがない「この事態」を乗り越えていくのは、私たち一人ひとりでです。今、私たちがやらなければならないこと、私たちができることを考えて行動することが、一日も早い終息に繋がることだと思います。

終息しなければ、この苦しみが長く続くこととなります。感染拡大にしっかりと歯止めを掛け、復興に向けた次の手が打てるように大切な人を、大切な地域を守るために、共に乗り越えましょう。

山梨経済同友会 代表幹事 入倉 英
代表幹事 長澤 重徳

感染しない！感染させない！！ 命をまもるための取り組み

- 不要不急の外出を制限しよう。
- 3密（密室空間・密集場所・密接場面）を回避しよう。
- マスク・手洗い・消毒を徹底しよう。

「県民一丸となって乗り越えよう！」

私たち山梨経済同友会では、新型コロナウイルス感染拡大防止に引き続き努力すると同時に、地域経済の復興に向け、力を合わせて活動を盛り立てています。ぜひ、今のこの苦しみをともに乗り越えよう！県民一丸となって、新しい時代を、新しい山梨を創り上げていきましょう。

山梨県新型コロナウイルス感染症対策本部より提供されたイメージ写真です。



賀場 紀仁	浅妻 和範	安部 基紀	岡部 未	岡部 哲也	荒井 義信	有賀 雄二	飯島 慎典	飯室 元邦	石川 美穂	石坂 正人	飯倉 正晴	伊藤 祐貴
伊藤 不二夫	井上 俊和	井上 雅博	井原 貞和	今井 猛	入倉 要	上倉 幸治	上原 伊三男	碓井 理史	遠藤 孝	遠藤 仁	大石 竜二	岡本 輝夫
小川 貞史	小倉 忠一	小澤 登太郎	小澤 照人	小田 切 繁	小野 元嗣	小尾 博之	加藤 千岳	門坂 好高	会井 芳朗	会丸 さぶろう	川口 祐司	北岡 司多
橋田 和彦	梶原 正仁	塚田 鮎	小林 大希	五等 節夫	五領 田岡司	齊藤 昌樹	齊藤 勇介	高井 賢一郎	榎本 広盛	佐々木 剛	繁尾 明彦	芝脱 太郎
橋田 修二	清水 栄一	清水 一彦	志村 和也	志村 浩男	新家 正彦	曾 紀雄	鈴木 淳	高木 靖雄	高野 孫左卫門	滝澤 孝	田中 慶一	田中 毅
辻村 和人	土屋 仁	寺井 英仁	野山 尚志	内藤 篤	内藤 修也	内藤 崇明	中込 昌太郎	長澤 重徳	中根 和宏	中丸 賢治	中村 国男	中村 一致
根津 空次	野口 英一	長谷部 泰	羽中 田原田	早野 正泰	原田 由起彦	伴野 公亮	奥川 哲行	平賀 新也	平口 暢子	深沢 栄治	藤田 義治	豊前 真子
吉川 潤子	吉屋 櫻仁	吉屋 文仁	吉屋 勇治	出本 達也	保坂 東吾	堀内 光一郎	堀 达 丹	堀之 内勝	松井 秀彦	丸屋 智史	三木 尚	三澤 茂計
三村 雅嗣	宮本 秀彦	高上 仁	望月 英雄	望月 幸徳	森末 直樹	八代 晋雄	築田 裕彦	山口 高明	山口 裕之	山下 誠	依田 光人	若尾 逸生
渡辺 栄一	渡辺 尚彦	渡辺 良孝	小野 聖太郎	金丸 康徳	住川 雅洋	堀谷 惠二	望月 操三	望月 政男	深沢 文雄			

山梨経済同友会 (ホームページバージョン)

■「女性活躍パートナー会議」の創設

我々同友会（新 DCTP 会議）が山梨県に対して行った女性活躍への提言を事業背景として、女性活躍プロジェクトの事業を実施します（日時 2020年11月から開始予定）。

山梨経済同友会では数年前より、山梨県の人口減少対策として、山梨県を女性が活躍できる地域としてPRし、環境整備を推進することを、山梨県に提言してきました。

今回、その具体的な取り組みの一つとして、各企業（職場）で働き方改革や女性活躍に中心に取り組んでいる女性社員をメンバーとして推薦いただき、活躍する女性を講師に迎え、講演会による学びやメンバー同士の情報交換等（異業種交流）を行う『女性活躍パートナー会議』を山梨県、甲府市と連携して立ち上げることになりました。

この様な形の組織は全国的にも例がなく、各社より推薦いただいた優秀な女性社員（現在50名以上）の集まりですので、同友会発で、何か各社各企業の女性活躍の推進はもちろん、山梨の為になるような進化のきっかけをこれから期待していきたい。

新型コロナのため開始時期が9月から11月の目標となったが、様子を見ながら実施していく。

以上

② つばさを広げる部会活動報告

部会長 上原 伊三男
副部会長 清水栄一
副部会長 芝聡太郎

当部会は、昨年(2019年7月19日)県内5大学(山梨大学、山梨県立大学、都留文科大学、山梨学院大学及び山梨英和大学)と山梨経済同友会との連携協定調印式・記者発表「つばさを広げる会～イノベーションを起こす若い力の創造～」により会が発足されましたが、これを受けて、本会内に事業として実行していくための部会として開設し、本年度より「未来山梨創生委員会」内に属して活動することとなりました。

<活動報告>

■『産学連携協定』(つばさを広げる会)を県内5大学と締結(昨年度:継続事業)

事業名 『つばさを広げる会』～イノベーションを起こす若い力の創造～

調印式 令和1年7月19日(金)17:00～17:30

会場 古名屋ホテル 2階ルンブラン

連携概要

山梨経済同友会が最先端で活躍する一流の企業経営者やクリエイターを講師として招聘し、大学側はその事業(勉強会)に学生の参加を促進する。また、地域人材の育成及び産業振興に資する人材の育成に関し連携協力を行う。



■第1回「つばさを広げる会（勉強会）」の開催

日時 2019年11月7日（木）18：30～20：00

会場 ベルクラシック甲府 甲府市丸の内1-1-17

参加者 大学関係102名、一般55名、合計157名

1. 開講式

(1) 主催者代表挨拶 入倉 要（山梨経済同友会代表幹事）

(2) 本会趣旨説明 上原伊三男（同 副代表幹事）

(3) 来賓のご紹介

山梨大学 早川正幸 理事

山梨県立大学 清水一彦 学長

都留文科大学 福田誠治 学長

山梨学院大学 丸山正次 副学長

山梨経済同友会 入倉 要 代表幹事

山梨経済同友会 長澤重俊 代表幹事

2. 講演会

演題 「ゲームチェンジャーの挑戦」～激動のヘルスケア産業で勝ち抜くために～

講師 中村和男 氏（シミックホールディングス(株)代表取締役 CEO）

第1回目として、甲府市出身で、日本初のCRO（医薬品開発支援事業）を開業し、ヘルスケア領域でも事業拡大中の一部上場会社・シミックHDの代表取締役CEOの中村和男氏にお越し頂き、学生の皆さんへ向けた講演会を行いました。



アンケート或いは感想によりますと、山梨経済同友会として、県民のためにという思い、また学生さんに対する良質なインパクトを残せたと感じます。次回も出席したいという意見も多数あり大成功に思いました。内容についても、若者にとって、講師の現在に至る道筋や哲学を聞いたことに対して、夫々が感じ取り良かったとアンケートを通して伺え、非常に良い機会になったと思う。

■第2回「つばさを広げる会（勉強会）」の開催

日時 2020年2月21日（金）18：30～20：00

会場 山梨県立図書館多目的ホール

参加者 大学関係83名、一般71名、合計154名

講演会

演題 「あるビジネスマンの半生」～すべての経験と失敗がいまをつくる

講師 中尾充宏 氏（UUUM(株) 取締役）

第2回目として、業界初のYouTuber向けマネジメントプロダクションUUUM(株)取締役の中尾充宏氏にお越し頂き、学生の皆さんへ向けた講演会を行いました。

UUUM社は、YouTuberのマネジメントプロダクションとして業界初の会社を立ち上げて東証上場を果たし、そのYouTubeは新たな文化・価値を生み出して世間の注目を集め、話題になっています。中尾氏には起業や失敗した経験も踏まえて学生さんへの可能性をお話頂きました。



講演後の学生アンケートを見ましても、一流講師から受けた新たな感想が記され、会の目的である、「チャレンジスピリットを得てイノベーションを起こすチカラのヒント」を会得してくれたものと思います。

なお、今回、受付および司会補助として学生さんが1名運営に協力して頂きましたが、今後、学生スタッフによる運営協力を更に行っていく方向性（協力可能との回答学生19名）にしたいと思っています。

※新型コロナウイルスへの対応につきまして

実施の直前、新型コロナウイルス感染症初期段階についての初期対応情報があり、部会では代表幹事と開催の可否検討を確認いたしました。結果、「経済同友会の会合等の段階的な対応」を踏まえ、不特定の会合でない事および政府の指導を鑑みて、出来るだけの準備をしたうえで実施をすとの決定を前日（2月20日）に致しました。同日、開催を決定した旨会員各位に通知し、また、主催各大学、後援の山梨県、記者クラブに通知を行い、理解を求めました。開催運営に当たり、事前に会場内の除菌をした上で除菌スプレーを用意し、参加者には、受付にてマスクを全員に配布させていただき、咳エチケットおよび手洗いの励行を促す対応を致しました。お手伝いいただいた会員各位、および会場内除菌等にお力を頂いたサンキョー様に深く感謝いたします。

■第3回以降の開催について

学生さんたちからは次への期待も頂いていますが、3回目からはコロナの自粛により暫く計画も延期としています。以前より講師として落合陽一さんにアプローチして頂いていますが、こういう状況なので日程等確約に至らず延び延びとなってしまっています。今後、イベントに対する県内・学内の方針や実施状況、学生の集まる時期や講師の選定など全体を踏まえながら開講を予定していきたく思っています。なお、次回からは高校生にも対象を広げていく予定です。

運営や中身も皆さんに満足いくような会にしていきたく思っていますので、会員各位には引き続きご協力をお願いします。

以上

<参考資料>

次ページに、ポスター/チラシを掲載。

(1.11.7) 第1回 つばさを広げる会 (ポスター/チラシ)

未来へ走れ
イノベーションを起こす
若い力の創造

つばさを広げる会(勉強会)

第1回目 (全4回) 11月7日(木) 18:30~20:00 (受付18:00~)
会場: ベルクラシック甲府3F 参加無料/予約制(定員100名)

講師 シミックホールディングス株式会社 代表取締役CEO 中村和男氏(甲府市出身)

申込方法 主催大学(下記参照)で参加ご希望の方は、各大学窓口を通じてお申し込み下さい。
主催大学以外の参加ご希望の方はホームページからメール、又はチラシ(FAX)にてお申し込み下さい。

URL: <https://www.yamanashi-doyukai.gr.jp/>
FAX: 055-221-0304
[事務局] 山梨経済同友会事務局

主催 山梨経済同友会 山梨大学 山梨県立大学 都留文科大学 山梨学院大学 山梨英和大学
後援 山梨県

つばさを広げる会

次世代を担う若手育成のための勉強会

未来へ走れ
イノベーションを起こす
若い力の創造

参加無料 要予約

「つばさを広げる会」とは?

山梨県内で学ぶ大学生を対象とした「つばさを広げる会」は、これからの企業時代に、柔軟性と想像力を発揮し、新しいことに挑戦する「チャレンジスピリット」と、ものごとをやり抜く「たくましい人間力」を兼ね備えた若い人材を育てるために、時代の最先端で活躍する一流の経営者やタレント等の生の声を聞く機会を提供し、次世代を担う若手育成につながることを目的とした勉強会(全4回予定)です。

第1回目は、甲府県出身で日本初のCEO(医薬品開発支援事業)を創出したシミック株式会社(現シミックHD) 代表取締役CEOの中村和男氏より学生の皆さんへ向けた講演会を行います。「一流の成功者の話を聞いてみたい!」そんな意欲をお持ちの若手参加エントリーをお待ちしています。

日時	2019年11月7日(木) 18:30~20:00(18:00受付開始)
定員	先着順 100名
場所	ベルクラシック甲府3F (甲府市丸の内1-17) [甲府県甲府駅前北口より徒歩3分]

講師紹介 ~ 地元出身のトップランナー ~



シミックホールディングス株式会社
代表取締役CEO 中村和男氏 (甲府市出身/前都議甲府会会長)

1969年京都大学法学部卒業後、三井株式会社(現第一三井株式会社)に入社。世界的に活躍されている医薬品プロダクション(商品名:メロチン)の臨床開発プロジェクトリーダーなどを務め、1992年シミックHD(現シミックホールディングス)の社長に就任し、同業のCEOとして活躍中。

近年では、医薬品、農業、科学技術振興などに携わる多岐にわたる国際プロジェクトに委員として参加しているほか、京都大学大学院総合生命学専攻准教授、山梨大学客員教授、山梨県立大学アドバイザー等も兼任中。

また、60年代アメリカの代表取締役であるキース・ヘニングの経営者のコロンナで、2007年には山梨県を代表する一歩のプロジェクトのみを継承する、世界で初めてのプライベート美術館を開設、運営も務める。

参加申込

主催大学(表裏を参照)で参加ご希望の方は、各大学窓口を通じてお申し込み下さい。主催大学以外の参加ご希望の方は、ホームページからメール、又は下記を記入の上 FAXにてお申し込み下さい。

FAX 055-221-0304 (締切日の上お送りください) 応募締切 10月31日(木) ※定員100名先着順
お申込先: 山梨経済同友会事務局

申込事項	氏名	年齢	職業
	住所	電話	
	E-mail		

(2.2.21) 第2回 つばさを広げる会 (ポスター/チラシ)

未来へ走れ
イノベーションを起こす
若い力の創造

つばさを広げる会(勉強会)

第2回目 (全4回) 2月21日(金) 18:30~20:00 (受付18:00~)
会場: 山梨県立図書館多目的ホール 参加無料/予約制(定員100名)

演題 「あるビジネスマンの半生」 ~すべての経験と失敗がいまをつくる

講師 UUUM株式会社 取締役 中尾 充宏氏

申込方法 主催大学(下記参照)で参加ご希望の方は、各大学窓口を通じてお申し込み下さい。
主催大学以外の参加ご希望の方はホームページからメール、又はチラシ(FAX)にてお申し込み下さい。

URL: <https://www.yamanashi-doyukai.gr.jp/oshrase/2217>
FAX: 055-221-0304
[事務局] 山梨経済同友会事務局

主催 山梨経済同友会 山梨大学 山梨県立大学 都留文科大学 山梨学院大学 山梨英和大学
後援 山梨県

つばさを広げる会

次世代を担う若手育成のための勉強会

参加無料 要予約

「つばさを広げる会」とは?

山梨県内で学ぶ大学生を対象とした「つばさを広げる会」は、これからの企業時代に、柔軟性と想像力を発揮し、新しいことに挑戦する「チャレンジスピリット」と、ものごとをやり抜く「たくましい人間力」を兼ね備えた若い人材を育てるために、時代の最先端で活躍する一流の経営者やタレント等の生の声を聞く機会を提供し、次世代を担う若手育成につながることを目的とした勉強会(全4回予定)です。

第2回目は、業界初のYouTuberとしてのマシントプロダクション UUUM株式会社取締役の中尾充宏氏より学生の皆さんへ向けた講演会を行います。「一流の成功者の話を聞いてみたい!」そんな意欲をお持ちの若手参加エントリーをお待ちしています。

日時	2020年2月21日(金) 18:30~20:00(18:00受付開始)
定員	先着順 100名
場所	山梨県立図書館多目的ホール (甲府市丸の内1-17) [甲府県甲府駅前北口より徒歩3分]

講師紹介



[演題] 「あるビジネスマンの半生」
~すべての経験と失敗がいまをつくる
UUUM株式会社 取締役 中尾 充宏氏

2001年、大学卒業後に証券会社に入社。2003年に株式会社UUUM(現UUUM株式会)へ転職。インフラやITを中心とした事業でキャリアを伸ばし、主に投資事業を担当し、2006年からはイベントやモバイル広告など経営活動の幅を広げる。株式会社スパイア(現スパイア株式会社)のグループ会社にて経営を継承し、2011年に独立。3年間の会社経営を経て、2014年にUUUM代表、取締役としての出陣からUUUM株式会社に入社。

参加申込

主催大学(表裏を参照)で参加ご希望の方は、各大学窓口を通じてお申し込み下さい。主催大学以外の参加ご希望の方は、ホームページからメール、又は下記を記入の上 FAXにてお申し込み下さい。

FAX 055-221-0304 (締切日の上お送りください) 応募締切 2月14日(金) ※定員100名先着順
お申込先: 山梨経済同友会事務局

申込事項	氏名	年齢	職業
	住所	電話	
	E-mail		

③ 山梨ネットワーク部会活動報告

部会長 齊藤基樹
副部会長 平口暢子

【活動目標】

当部会は、「山梨経済同友会のホームページを充実させるとともに、情報収集&発信ツールとして進化させる。また、5G、AI、IoTの研究を行い、生産性向上や働き方改革への活用を検討する。」を目標にしております。

【活動報告】

当部会のホームページは、2017年12月創立20周年記念事業として全面リニューアル（平成24年(2012年)2月以来の改編）を行い、システムの改良を行いました。新たに会員参加できるコンテンツ（フェースブック）も導入しさらにはスマホからの閲覧も可能としました。以降、同友会全体に関わる各種情報を集めながら、タイムリーに発信していく事を基本に活動してきています。ホームページからは、幹事会議事録や各部会活動の報告・広告といった情報を即時、掲載しています。また、埋め込んだフェースブックは、様々な情報、四季の移ろいや変化を感じさせる県内様々な取組や行事・イベント情報などもシェアしています。

5G（第5世代移動通信システム）は、山梨県も2020年から順次サービス開始が予定され、「超高速化」「超多数同時接続」「超低遅延」により様々な分野での飛躍的な応用が期待されます。部会では会員の皆さまより参加希望を募り、1月24日（金）、5Gリアルワールド体験「ドコモオープンハウス見学会」を東京ビックサイト（青海展示棟）で実施しました。ドコモ平口支店長に便宜を図っていただき真にお礼申し上げます。見学会では、あらゆる業界で広がるIoT活用事例の可能性や、暮らしの夢のあるいろいろな部門サービスを見せていただきました。具体化してくるとこれを基盤として大きな産業化に繋がるのではないかと、非常に参考になりました。

3月より6月にかけて、新型コロナ対策による活動自粛期間となりました。部会では運営部会及び代表幹事より、同友会も参加のご指示を受けて、甲府商工会議所（進藤中会頭）の主催する「I will be back！愛する甲府の飲食店等緊急応援プロジェクト」への参加依頼をホームページに掲載しました。また、この間、“常任幹事会のリモート開催”の可否について、使い勝手の面、利便性の面、セキュリティー面等から様々なWebツールを検討して参りました。公の方々も参加していることから中々難しく、状況を見ながらさらに検討を重ねて参りたいと思います。

【活動予定】

今後も幹事会の模様、委員会の活動、お知らせなど、会報としての役割や、会員相互のホームページの有効利用を図ります。さらには、トップページからいろんな方に見ていただいて山梨の良さ発見につなげていくコンセプトで、会員の皆様からのお勧め観光情報などを加えながら充実させ、同友会のPRや山梨ブランドの発信力強化に役立てていきたいと思っております。同友会メンバーが紹介する山梨の良いところ、素敵なおいしいところ（おすすめ情報）を会員推薦の形で掲載し、さらにはコンテスト、ランキング発表といった情報発信の形が出来ればと考えています。

また、部会では新たに、全体委員会としての講習会（5G、WiFiの活用、デジタル政策）の企画も立てて参ります。

ご理解いただき、ご協力をお願いします。

部会では、来期に向けて、更に一層具体化・推進していく所存です。
1年間お世話になりました諸兄に心より感謝申し上げます。

以上

④ 次世代育英部会活動報告

部会長 築田裕彦
副部会長 伊藤祐寛
副部会長 丸茂智史
副部会長 饗場紀仁

活動経過

(1) 山梨県立大学と経済同友会の連携による講座

- 第1回 令和1年10月17日(木)
地域企業実践論～Ⅰ 地域企業の経営戦略を学ぶ
テーマ 「先義後利」とは
講師 井上雅博氏(アドヴォネクスト社長)
- 第2回 令和1年10月24日(木)
地域企業実践論～Ⅱ 地域企業の経営戦略を学ぶ
テーマ 外国人人材との共生社会の実現
講師 斉藤勇介氏(アシストエンジニアリング社長)

(2) 令和2年度(新学期)の講座に向けての活動経過

令和2年2月3日、事務局において幹部会を開催。今後の部会の進め方や役割分担等の打ち合わせを行った。山梨県立大学との連携協定に基づく講座については、大学側の考え方を示していただくとともに、これまでの講座の振り返りも行い、今年度の講師派遣を検討していくことを確認した。

2月19日、山梨県立大学において担当教授と令和2年度の講座について打ち合わせを行った。その後数回の打ち合わせを経て、前期「インターンシップ講座」として3コマ、5月13日、27日、7月1日に開催すること決定した。また、後期についても「地域企業実践論」(2コマ)、「経営史」(1コマ)の講座を検討していくこととした。

しかし、その後の新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月は大学の講義は中止となり、5月連休明けから再開されたものの、すべてオンライン授業となった。このため大学から前期は連携講座を実施しないとする決定がなされた。

また、後期についても新型コロナウイルスの影響が続くなかで同様の決定がなされ、今年度の連携授業は実施することができなかった。

今後については、アフターコロナ、ウィズコロナの時代における社会の状況をよく認識する中で、活動を検討し進めていきたい。

以上

①山梨県立大学連携講座



※この講座は、山梨県立大学と山梨経済同友会との連携協定に基づき
同友会のメンバーが講師(客員教授)として、リレー講座(山梨創生学)形式で実施します。

第1回	インターシップ講座～Ⅰ	山梨を再発見する
2019.5.15		(5限) 16:30～18:00 岡本新一 山梨中銀経営コンサルティング 部長 「山梨で働く・暮らす を考える」
第2回	インターシップ講座～Ⅱ	山梨を再発見する
2019.5.29		(5限) 16:30～18:00 長江 敬 日本銀行 甲府支店長 「山梨県経済の現状と可能性」
第1回	経営史講座～Ⅰ	企業の成長の歴史と経営戦略を学ぶ
2019.7.2		(4限) 14:50～16:20 長澤重俊 はくばく 社長 「㈱はくばくの成長戦略」
第3回	インターシップ講座～Ⅲ 「意見交換」	学生と経営者のディスカッション
2019.7.3		(5限) 16:30～18:00 入倉 要 イリックス 井上公仁 山梨中銀経営コンサルティング 豊前貴子 豊前医化 丸茂智史 かえで総合保険 岡本新一 山梨中銀経営コンサルティング
第1回	地域企業実践論～Ⅰ	地域企業の経営戦略を学ぶ
2019.10.17		(3限) 13:00～14:30 井上雅博 アドヴォネクスト 社長 「先義後利」とは
第2回	地域企業実践論～Ⅱ	地域企業の経営戦略を学ぶ
2019.10.24		(3限) 13:00～14:30 斉藤勇介 アシストエンジニアリング 社長 「外国人人材との共生社会の実現」

⑤ 運営部会活動報告

部会長 齊藤勇介
副部会長 伴野公亮

当部会は、各種の会議や連携事業・イベントなどの運営を担当するとともに、会員交流事業（会員交流に関して円滑な運営を行う）を担当し、また会員拡大など内部充実を図っていく常設の部会である。

◇活動実施報告

- ① 第28回中央日本地区会議(in富山)への派遣
日 時 令和1年10月4日(金)
場 所 オークスカナルパークホテル富山
総合テーマ「持続可能なまちづくり」
参加者 入倉代表ほか4名
経済界が果たすべき役割について各地同友会の取組事例の紹介を交えながら議論
- ② 2019年度全国経済同友会代表幹事円卓会議
日 時 令和1年10月28日(月)
場 所 びわ湖大津プリンスホテル
参加者 入倉代表、事務局
全国セミナー開催および各地経済同友会による地方創生・地方活性化の取り組み
- ③ 山梨県(部局長)との意見交換会(未来の山梨を考える部会掌理)
日 時 令和1年11月18日(水)
場 所 古名屋ホテル
出席者 入倉代表ほか18名
- ④ 令和2年新年祝賀合同互礼会
日 時 令和2年1月7日(木)17:00~
場 所 甲府記念日ホテル1階昇仙閣
県経済3団体による恒例の互礼会、500名参加

◇コロナ感染症対策への対応状況(2月27日~5/22)報告

- 2月27日(木)新型コロナウイルスに関する当面の対応方針通知(3/11まで)
〈以降、すべての会合等の開催を中止または延期〉
- 3月5日(木)幹事会(書面会議)実施
- 3月10日(火)新型コロナウイルスに関する当面の対応方針通知(3/31まで)
- 3月24日(火)新型コロナウイルスに関する当面の対応方針通知(4/12まで)
- 4月2日(木)幹事会(書面会議)実施
- 4月13日(月)新型コロナウイルスに関する当面の対応方針通知(5/8まで)
- 4月27日(月)新型コロナウイルスに関する当面の対応方針通知(5/22まで)
- 4月30日(木)飲食店等緊急応援プロジェクト(クラウドファンディング)参加
「I will be back! 愛する甲府の飲食店等緊急応援プロジェクト」
- 5月7日(木)幹事会(書面会議)実施
- 5月11日(月)新聞広告事業(5/12付け)実施の通知
- 5月12日(火)山日新聞に「負けるな、山梨」~大切な人を、大切な地域を守るために、乗り越えよう!~を、会員全員名を添えて、広告掲載(問題提起)
- 5月22日(金)新型コロナウイルスに伴う会員活動に関する方針通知(活動再開)
〈5/22より県の協力要請を遵守しながらの活動再開〉

この間、幹事会は書面会議での開催とし、一方では、会員全員参加による事業として、「飲食店応援プロジェクト」事業への共同参加、会員全員名での「新聞広告事業」の2事業を行った。皆様の温かいご理解ご支援にあらためて感謝申し上げます。

◇活動方針等

本年度はこれまでかつて経験のないコロナ感染症のため、予定していたすべての会員交流事業も中止となってしまい、皆様のご期待に沿えず残念な年でありました。活動再開後の現在においても、感染症対策を念頭においた運営スケジュールを求められる異常事態となっております。

恒例の「親睦会」、「バスツアー」、「ゴルフ大会」といった会員相互の親睦・交流の機会や、イベント、「全国経済同友会セミナー」など、来期は、状況を見ながら会員の親睦や交流の場を設けて、今後も会員相互の啓発と親睦を図り、会員同士の絆を深めていきたい。

今期の会員増強は目標10名のところ3名の新会員加入に止まった。メンバーを増やしながら、来期以降の活性化に向けて積極的に運営していきたいと思う。これまでの運営に当たってのご協力に感謝したい。来期は会員増強目標を5名に致したいのでよろしく願います。

以上